

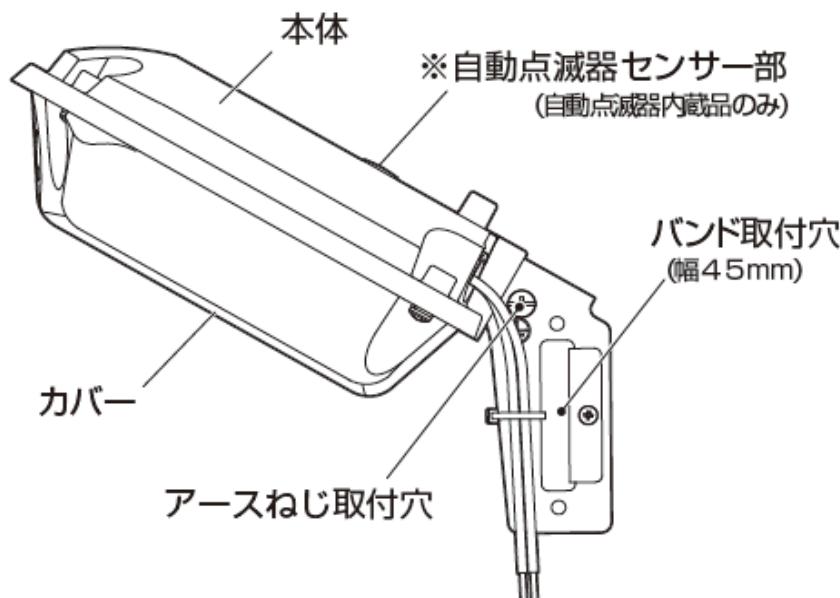
LED防犯灯の取り付け・配線方法について

(IRLDBHの場合)

各部の名称

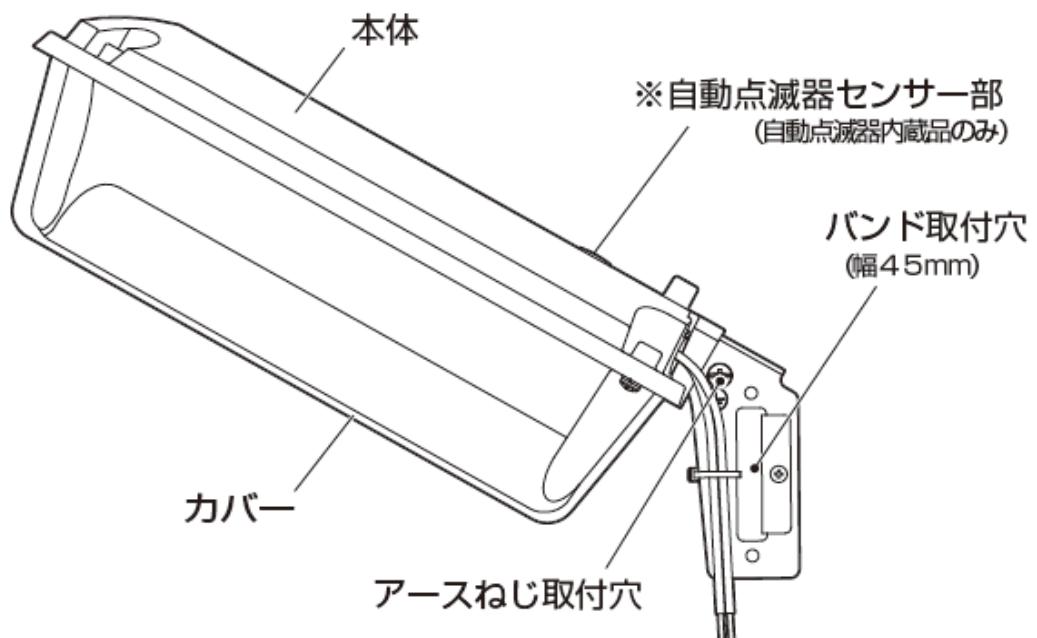
■10VAタイプ

IRLDBH10-V2 / IRLDBH10A-V2 *



■20/40VAタイプ

IRLDBH20-V2 / IRLDBH20A-V2 *
IRLDBH40-V2 / IRLDBH40A-V2 *



取り付け場所と周辺環境の確認

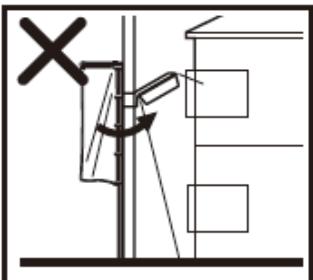
■安全に長期間使用できるように、本書の施工説明にしたがい、取り付け部の強度を確保してください。

●設計耐風速は 60m/s ですが、取り付け状態や長期間の設置により変化する場合があります。



- 器具質量は 1.0kg 未満ですが、風圧により大きな荷重がかかります。取り付け施工後に強度が十分かを、必ず確認してください。
- 本器具は下向き照射専用です。それ以外の向きで取り付けをすると、内部浸水による感電や故障、器具落下など原因になります。

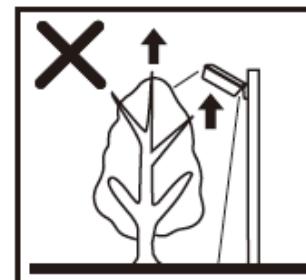
■以下のような場所には、取り付けたり近づけたりしないでください。



- 住宅の壁や窓に近接
- 風によって器具に可燃物が接触する場所



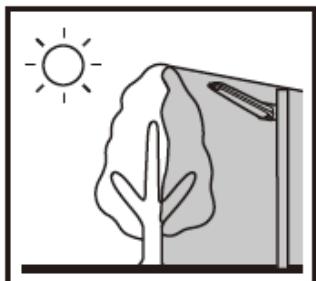
器具の熱で可燃物が発火したり、器具自体が故障や火災をおこすことがあります。



- 木々の枝葉が成長して接触するような場所

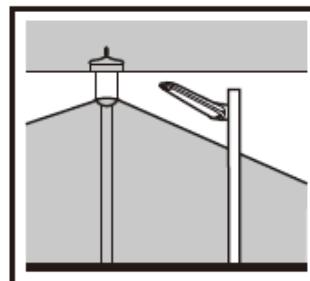
器具周辺の枝葉は定期的に剪定してください。

■自動点滅器内蔵の製品は、設置環境により以下の動作をすることがあります。あらかじめ設置・取り付け場所を確認してください。



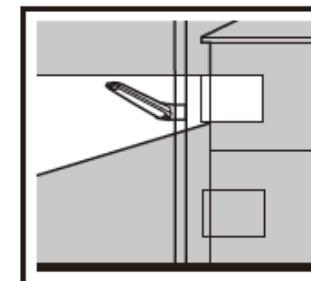
- 昼間でも暗い場所(木かげ、ひさしの下)

周囲が暗くなる前に点灯、明るくなっても消灯しないことがあります。



- 夜間でも明るい場所(街灯や照明があたる場所)

自動点灯しない場合がありますので、おすすめできません。



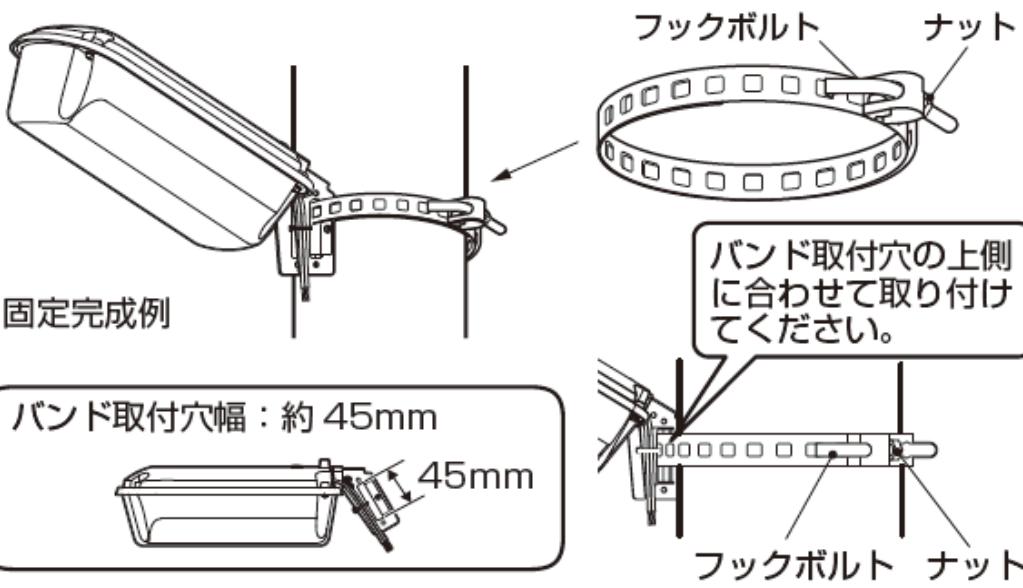
取り付け・配線方法

① 器具を取り付けます

■柱の直径がφ130~370mmの場合

適合径 (mm)	推奨取付バンド (別売)
φ130 ~ 195	IBT-308 同等品
φ195 ~ 350	IBT-312 同等品
φ195 ~ 370	IBT-212 同等品

- ①器具本体のバンド取付穴にバンドを通す。
- ②フックボルトをバンドの穴に引っ掛ける。
- ③ナットを締め付ける。(締め付けトルク: 24N·m)



■柱の直径がφ60~130mmの場合

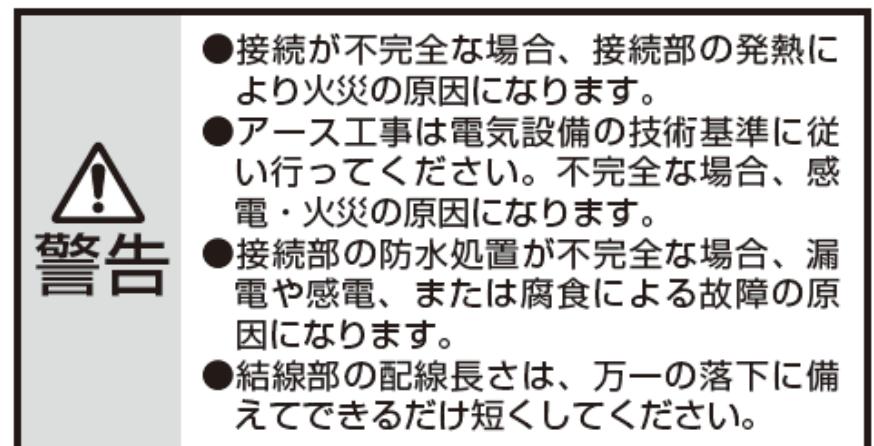
適合径 (mm)	推奨取付バンド (別売)
φ60 ~ 130	SFT-N206 同等品

- ①バンドの先端をシャフトの間に通して引く。
- ②たるまない程度にバンドの長さを調整し、ハンドルを90°起こして仮止めする。
- ③ハンドルの先端の余った部分をシャフトから3cmの位置で切る。
- ④ハンドルを往復させてバンドを締め付ける。
- ⑤ハンドルをベースにはめる。

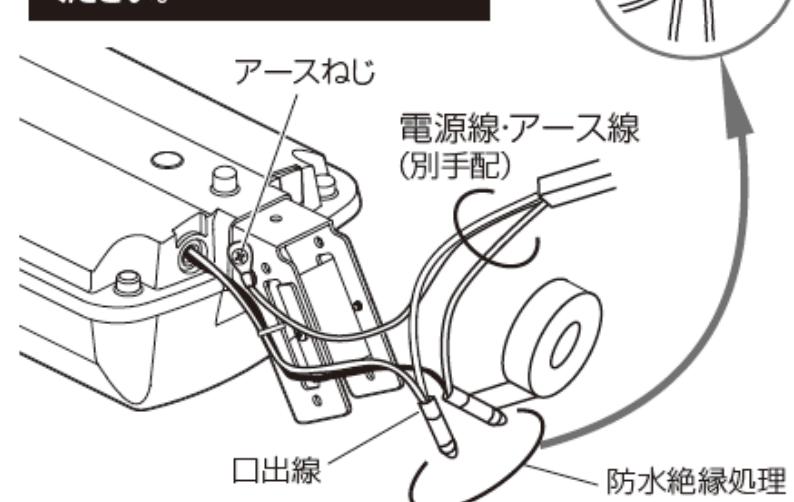


② 電源線、アース線を接続します

- ①電気設備の技術基準省令第7条にしたがい、電源線と口出線の白と黒の線を圧着端子やJIS C 2806 準拠のスリーブで結線する。
- ②器具本体のアースねじを使用して、D種設置工事を確實に行う。
- ③接続部は自己融着絶縁テープなどで防水性のある絶縁被覆処置を施す。絶縁被覆処置は導体部分とシース(外皮)を含めて行う。



自己融着絶縁テープなどで結線部を防水処置した後に、結線部の水滴滞留防止のため上に向けてください。



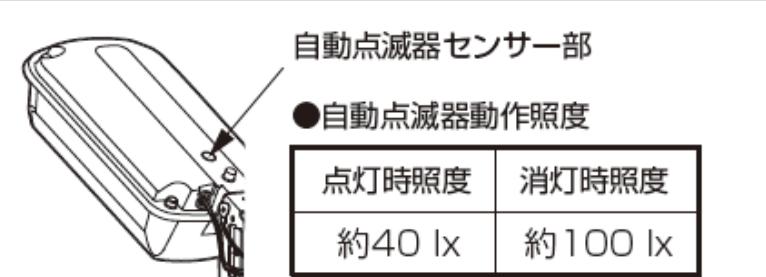
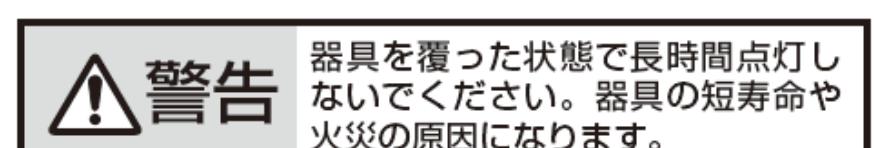
*説明のため鋼管柱は省略しています。

③ 器具の点灯確認

器具に通電し正常に点灯するかを確認してください。

自動点滅器内蔵の製品は、日照が十分にある時間帯に必ず以下の動作確認を実施してください。

- [点灯] 器具が消灯していることを確認し、自動点滅器のセンサー部を遮光性の高い黒い布などで覆い、20~30秒程度で点灯することを確認してください。
- [消灯] 覆いを取り去り、消灯することを確認してください。明るさを検知してから数秒で消灯します。



●自動点滅器動作照度	
点灯時照度 約40 lx	消灯時照度 約100 lx